

○議長（杉田雅史君） 1番 古川元規君。

○1番（古川元規君） 1番古川元規です。

それでは、私から質問をさせていただきます。

現在、実質的な次の総理大臣を選ぶ自民党総裁選挙が盛り上がっております。舟橋村の財源確保のためにも、経済成長のないこの日本、コロナを乗り越えて飛躍させるよう、プライマリーバランスにとらわれない積極的な財政政策を行ってくれるような、そんなリーダーが選ばれることを願っております。

それでは、本題のほうに入らせていただきます。

1つ目は、副村長職の設置と組織変革について質問をさせていただきます。

現在のパワハラ問題であったり、また官製談合の問題、今、舟橋村役場にはいろいろな問題が続いており、今後の住民サービスの低下も危惧をされております。今後はぜひそのようなことがないように対応をしていただきたいと思いますと思っておりますが、これらの問題は、副村長制を過去廃止し、村長一人の体制によって役場の全てに目が行き届かずに起きたとも言えるのではないのでしょうか。

公務員は全国的に現在削減の方向にありますが、日本の千人当たりの公務員数は欧米諸国と比べても半分程度しかおらず、このように公務員比率が低い国はほとんどありません。まして舟橋村は人口も増えており、ほかの市町村とは置かれている現状も違います。住民サービスの維持向上や有事の際のリスク管理のためにも、役職名は副村長とこだわらずとも、村長を支え、また職員が働きやすい環境を整えるような役職が必要であるというふうに考えます。

また、現在は総務課と生活環境課の2つの課に仕事と職権が過剰に集中しているのではないかというふうに思われます。課を新設して職務と職権を分散するなど、大胆な組織改革も必要であると思えますし、また、そうなると、ますます副村長のような、各課を統括する役職が求められるというふうに考えます。

古越村長は立候補の段階から副村長制の復活を公約として掲げられておりましたので、副村長ないしはそれに代わる役職の設置について、また今後の役場の組織の在り方についてどのように考えておられるのか、村長の考えをお聞かせください。

2点目の質問になります。事業検証と事業計画の見直しについてであります。

1月に地方創生特別委員会から提出された意見書にもありましたが、これまでの地方創生についての事業など、逮捕されました吉田氏が担当してきた事業について、今こそ

また事業の検証を行うべきではないかというふうに考えます。

吉田氏は、具体的な検証結果は論文で示されるというような答弁をされてきたように記憶しておりますが、一体それはいつ出てくるのでしょうか。

そもそも論文によらなければ、本当に検証ができないものなののでしょうか。事業の中には成功したものもあれば、失敗に近い結果と言えるものもあったのではないかと思います。これまでは失敗についてなかなか認めることができなかったということがあるのではないのでしょうか。

「過ちて改めざる、是を過ちと謂う」という言葉どおり、失敗を認めないのではなく、失敗があったのなら、その原因をしっかりと追求して、君子豹変して、今こそ真っさらな目で検証を行うべきであるというふうに考えます。

現状では、残念ながら検証の際にその事業費が適切であったかどうかを判断することができないのではないかというふうに思っております。私も3月の定例議会の際に提案させていただきましたように、計画段階から議会に予算の使い道やゴールを明確に示してほしいというふうに思います。

今後の事業計画と検証の明確化について、どのように進めるのかお聞かせください。

以上です。

○議長（杉田雅史君） 村長 古越邦男君。

○村長（古越邦男君） 古川議員さんの、副村長職の設置のご質問についてお答えをさせていただきます。

議員ご指摘のとおり、今年2月以来様々な問題が続いておりまして、議員各位をはじめ村民の皆様にはご心配とご迷惑をおかけしておるところでございます。しかし、これらの諸問題の発生理由としましては、一概に副村長の不在を挙げることはできないものとも思っております。

しかしながら、私は選挙公約に副村長職の復活を掲げております。また、新型コロナウイルス感染症対策や役場職員による不祥事と続き、役場内の統率を私一人で担うには負担が大きくなってまいっております。そのためにも、ぜひ副村長を置きたいと考えております。そして、各課から上がってまいります情報、提案を副村長とともに精査し、政策として実行していくために必要な体制を構築し、住民サービスの向上につなげていきたいものと考えております。

一般職員が特別職の責任を肩代わりできるものではないと思っております、副村長をトッ

プに職員の負担軽減を図ってまいりたいというふうにも考えております。

また、私が不在の際に発生した災害等の緊急時にも瞬時に判断し対応するためにも、特別職である副村長の存在は不可欠であるというふうに思っております。

これらのことを踏まえまして、副村長についての人事案件を提案してまいりたいというふうに考えております。

次に、組織改革についてであります。ご指摘のとおり、本村には総務課と生活環境課の2つの課しかなく、仕事と職権が集中し、職員に負担をかけていることは否めません。

しかし、職員の数が少ないこともあり、今すぐ組織改革を行うことは困難であると考えておりますが、その必要性は十二分に思っておりますので、今後よりよい組織の体制づくりについて検討してまいる所存でございますので、ご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願いをいたしまして、答弁いたします。

○議長（杉田雅史君） 生活環境課長 田中 勝君。

○生活環境課長（田中 勝君） 古川議員の、事業検証と事業計画の見直しについてのご質問にお答えいたします。

第1期地方創生事業につきましては、これまでの答弁において、検証結果を議会で詳しく説明させていただくという回答であったかと思えます。

しかしながら、これまでの事業については、議員の皆様や村民の皆様にも分かりにくい部分が多く、費用対効果が出ているのか。事業の中身が分かりにくい。村民に対してのメリットが感じられない等のご指摘も数多くあったのも事実でございます。

これまでの地方創生事業では、5年間で40世帯の人口増加と年間30人の出生数という目標についてはクリアしてまいりましたが、村として転入先となる住宅用地の確保を行っておらず、民間による宅地造成が転入促進につながったこと。村独自のアプリ開発やモデルエリアに関する委託事業、ビッグデータの活用など、目に見える形での実績が少ない事業があったのも事実であります。

事業の中には成功したものもあれば、失敗に近い結果と言えるものもあったのではないかと議員のご指摘に対しても、これまでは成果として形になったものは乏しいという声も一方では聞いております。

本年4月から新たに第2期地方創生事業がスタートしましたが、第2期の事業では村の各種団体との連携を重視し、村民の方の意見を広く集めることを大切にしていける方針

であり、4月には園むすびに関係する方々との懇談会を開催、7月には「ふなはし あさいち」を開催し、出店農家と参加者両方にアンケートを実施して、次回以降のイベントに反映することとしております。

その他にも地引き網体験や防災訓練を兼ねた舟橋会館でのお泊まり会を実施してまいりましたが、今後も村民の皆さんの声を聞き、皆さんと協力しながら、分かりやすい形で事業を実施していきたいと考えております。

議員ご指摘のとおり、これまでの事業費が適切であったかどうかを判断することは困難ではありますが、今後の事業においては、議会に対し、予算の使い道や見込まれる事業成果、実施事業の検証結果などをきちんと説明し、村民の皆様に分かりやすく、満足度を実感できる事業を実施していきたいと考えております。

一度失墜した村の信用を取り戻すのはかなりの努力を要すると思われませんが、舟橋村に対するイメージを内からも外からもよいと思われるよう、職員一丸となって取り組んでまいりますので、今後ともご指導とご理解をお願い申し上げまして、答弁といたします。

○議長（杉田雅史君） 古川元規君。

○1番（古川元規君） 今ほどはご答弁、ありがとうございました。

私からは、質問というより、意見というか、提案というかなんですけれども、まず副村長職、また組織改革についてですが、今後の人選はもちろん、正副の村長がどのように職務を分担していくのか。また、給与面はどうするのか。また、組織の変革をどのように進めていくのか。

いきなり議案を出すとかというのではなくて、議会や村民との合意や理解が得られるように、まずはいきなり審議に持ち込むとかでなくて、協議とかでもいいので、共に議論を重ねた上で、条例改正だったり、新しい役職、組織をつくっていただければなというふうに思います。

そのためには、まずどのような行程で進んでいくのかロードマップを示していただければというふうに思いますので、ぜひよろしくお願ひしたいというふうに思います。

続きまして、事業の検証、また計画の見直しについてなんですけれども、こちらも同様でありまして、いつ頃からどのように実際変えていくのかという辺りも含めまして、その道筋というのをぜひ示していただければなど。

今すぐというのは難しいと思いますので、また次回以降の議会、またはそのほかの協

議会のときでも結構ですので、示していただければなというふうに思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上です。

○議長（杉田雅史君） 村長 古越邦男君。

○村長（古越邦男君） 今ほど1番古川議員からお話がありました人選、あるいは職務の分担、どのような形にするのかロードマップの作成ということでございますので、議会の皆様と相談しながら進めさせていただきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いいたしますと思っております。

○議長（杉田雅史君） 生活環境課長 田中 勝君。

○生活環境課長（田中 勝君） 先ほどの古川元規議員の再質問にお答えいたします。

事業検証というのは大変難しいと思いますので、これから事業計画等の見直しとか今後の予定については議会等によく説明して行っていきますので、またご理解のほど、よろしくお願いいたしますと思います。

以上であります。